
2017年度第3回

郵博 特別切手コレクション展

昭和切手発行 80 周年記念展

展示作品解説パンフレット



主催

郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

展示団体

昭和切手発行 80 周年記念展実行委員会

後援：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

協賛：特定非営利活動法人日本郵便文化振興機構

開催日時

2017年6月3日（土）10:00-17:30

2017年6月4日（日）10:00-17:30

会場：郵政博物館

展示作品一覧

カッコ内の数字は展示フレーム数です

昭和切手あれこれ (5) 斎 享

昭和切手コレクションの中から、とくに貴重なエッセイ・プルーフおよび特徴あるアイテムを厳選したコレクションです。

シートによる昭和切手の実用版の区別 (3) 新井紀元

昭和切手の製造面研究の基礎的素材となる完シート各種を抜粋して、2 フレームにわたり展示します。

JAPAN1937-46 (8) 林 国博

国際切手展で金賞を得た、1-3 次昭和全般にわたるコレクションです。

昭和切手 1937-46 (8) 伊藤純英

国際切手展で大金銀賞を得た、1-3 次昭和全般にわたるコレクションです。

昭和切手 (5) 松浦真一

国内展で上位入賞歴のある、1-3 次昭和全般にわたるコレクションです。

乃木 2 銭切手の発行まで (1) 児玉博昭

乃木 2 銭切手が発行されるまでを 1 フレームに纏めたコレクションです。

第 1 次昭和切手 (5) 菊地恵実

アジア国際展 2017 に出品した、1 次昭和のみを対象とするコレクションです。

第 2 次昭和切手 (3) 横矢 仁

国内展で金銀賞を得た、2 次昭和切手のみを対象とするコレクションです。

第 3 次昭和切手 (3) 安藤源成

収歴 70 年に及ぶベテランコレクターの膨大な収集の中から、3 次昭和のみを 3 フレームで展示します。

昭和切手時代の急速郵便 (3) 池田健三郎

国際切手展で大金銀賞受賞の速達郵便史コレクションから、変化に富む昭和切手使用時代を抜粋した展示です。

昭和切手あれこれ (5)

斎 享

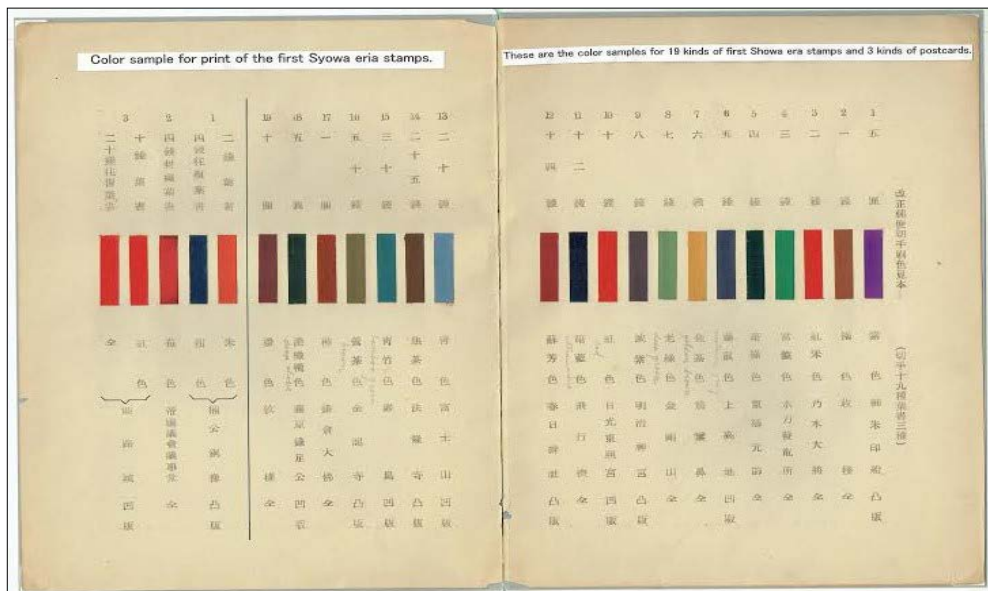
昭和切手のコレクションから、プルーフ、エッセイ、珍しい切手、珍しい使用例、和文ローラー印を 3 フレームに抜粋した作品です。

昭和切手がどのように誕生したかということが、プルーフとエッセイを見るとわかります。特に、第 1 次昭和切手 (19 種) とはがき (5 種) の刷色完成見本資料は、色名称、図案及び版式が、すべて最終決定後に記載されたものです。各切手の採用図案の原画と共に「刷色見本」が添付され、最終報告書が委員会から逓信大臣宛に提出されたものと思われます。

珍しい切手は、第 3 次昭和盾と桜 3 銭の白紙の未使用田型や、第 2 次昭和 27 銭の全面印刷漏れエラーを展示しました。

珍しい使用例は、第 1 次昭和 10 銭 1 枚貼りの関東州から満洲国宛の航空便や第 2 次昭和 30 銭 1 枚貼りの書留小包の現存唯一のエンタエア。他にももしろい使用例や珍しいエンタエア等を展示しました。

また、和文ローラー印の終戦前後を展示しました。



シートによる昭和切手の実用版の区別（3）

新井 紀元

第1次昭和切手は非常に丁寧に作られているので、実用版の区別が困難です。第2次昭和切手では、一部の切手で区別可能となっています。第3次昭和では、すべての切手において可能であるものの、数が多すぎて調べきれません。

この展示では、その区別方法をシートで提示します。なお、凹版切手の版別研究はきわめて地味な努力が必要であり、展示に適さないので割愛しました。

JAPAN1937-46 (8)

林 国博

国力が充実していた日中戦争の開始の直前から、太平洋戦争を経て終戦直後の物資困窮の時代に使われた普通切手(1-3次昭和切手)の作品です。

次第に軍部の力が台頭するなかで陸軍の乃木大将、海軍の東郷元帥図案と軍事色の強い切手図案に変更され、それらに構造改革による銘版表示の変更や用紙・裏糊等が絡み合いバラエティ豊富な普通切手です。

製造面においては、昨今は、未使用の大型ブロック等の展示が好まれています。そもそも単価が安価な昭和切手では、ありきたりなスペースフィラーとならないよう真に必要性が認められるマテリアルを大型ブロック等で展示しました。8フレームしかない許容範囲のなかでは「無意味な製造面の塊」は極力排除しました。

逆にエンタィアだけでは到底収まり切れない共栄圏内の各種消印については単片等の消印で構成しています。

南方占領地では、日本の執政権の下、そのままあるいは加刷をして現地切手とともに使用され、戦後は旧日本支配地域で同様に外国主権によって使用されましたが、これらについても、GHQ 統治下の軍国主義追放マテリアルとともに展示してあります。



昭和切手 1937-46 (8)

伊藤 純英

1937年発行の乃木2銭切手から1946年発行の平版厳島30銭切手までの、昭和切手について、戦前発行の第1次昭和切手・戦中発行の第2次昭和切手・戦中企画戦後発行の第3次昭和切手に大分類して、額面順に整理した作品です。

プルーフ・特別S/Sをはじめ、現存1点～数点のアイテムを多数含みます。30銭厳島無目打エラー切手銘付10枚ブロックは、1943年の発見以来長らく発見の地北海道に留まっていたましたが、2013年初めて北海道を離れました。日本切手中最も有名なエラー切手とされています。

他には昭和切手のカバーで最も珍しいとされる未発行青色勅額1枚貼書状を展示しています。昨年発見された青色勅額の未裁断シートは、現在調査中のため今回は展示していません。これは昭和切手中最も珍しいアイテムとなるはずですが、調査の結果驚くべき事実が現れてきました。いずれ専門誌に詳細を述べる予定です。現時点では、2018年9月8・9日開催の「全国郵趣大会 in 島原」で一度だけ国内展示が予定されています。

PHILATOKYO81、PHILANIPPON91、(PHILANIPPON2001 長崎の外国郵便のみ)、PHILANIPPON2001 と国際切手展に出品して37年目になりますが、今後もより上位を目指して精進したいと思います。



昭和切手 (5)

松浦 真一

JAPEX2006 出品作品に、その後取得したマテリアルを一部追加し展示しております。

一般的な伝統郵趣作品として、未使用 (製造面)、消印、エンタエアの 3 方面からアプローチしたものです。第一次から第三次までひとつおりの展示ですので、昭和切手全体を俯瞰していただくことができますと思います。



乃木 2 銭切手の発行まで (1)

児玉 博昭

昭和切手の 1 番手として発行されたのは、第二種便 (はがき) に適応させた乃木 2 銭でした。郵便料金値上げと図案の一新が急遽決まり、乃木神社に残る写真から切手図案が決められ、郵便料金値上げに合わせ発行される予定でした。

値上げから遅れること 1 か月、昭和 12 年 5 月 10 日東京中央局ほか数局で発行されました。その後約 10 年、激動の昭和史を飾り戦後昭和 22 年 8 月 31 日以後、GHQ 指令により軍国主義として使用を禁止される追放切手に指定されました。

この展示は、乃木 2 銭切手が発行されるまでを 1 フレームに纏めたコレクションです。

自慢できる貴重品はないのですが、図案の決定から原画者のスケッチ、エッセイ、試刷品、UPU 会議贈呈用小型シート、FDC 等で纏めています。

第 1 次昭和切手 (5)

菊地 恵実

第 1 次昭和切手のみを対象とした作品となっています。

第 1 次昭和切手は、戦前における日本の国力が最も充実していた時期に発行された通常切手で、1937 年 5 月に発行された 2 銭を皮切りに、1940 年 2 月に発行された 20 銭までの全 19 額面が全て異図案となっています。

第 2 次世界大戦前から戦中にかけて製造、使用された為、いずれもバラエティに富みます。

本作品は、製造面ではシェード (刷色) バラエティを軸にし、使用例については南方、南洋、樺太等に加え、多数貼りをを用いインパクトのある作品作りを心がけました。また、3 銭の平台と輪転版の判別が印面サイズ以外からも可能である事をオリジナル・スタディとして示しています。

第 2 次昭和切手 (3)

横矢 仁

本作品は、乃木 2 銭を除く第 2 次昭和切手のメインナンバー 21 種についてそれぞれ額面順に配列し、製造面と使用面の両面から展示しています。

製造面については 5 種類の銘版、即ち内閣銘、大日本銘 (長銘・短銘)、印刷局銘 (削り銘・中央銘) が存在し、このうち難しいとされる、5 銭東郷、10 銭地図の糊あり大日本銘、2 銭木造船の横すかし、10 銭勅額の細字版、40 銭灯台糊なし等、ほぼ揃えています。しかし最も難しいとされる、乃木 3 銭輪転版「糊なし大日本銘」は未集です。

使用面については各切手の代表的な使用例について使用済も含め展示しています。



第 3 次昭和切手 (3)

安藤 源成

未整理の収集品の中から 3 フレームを作成しました。未使用は出来るだけ銘付田型を示し、使用済は省略して他のジャンルからエンタィア・葉書を抜き出して展示しています。

【注目のマテリアル】

21 年 1 月 7 日葉書 5 銭料金に速達 30 銭加貼

22 年 8 月 31 日葉書 50 銭料金に旭日 5 銭加貼、追放最終日の一般使用

22 年 (月日不明) 葉書 50 銭料金に追放切手加貼、剥取り

21-22 年速達便に GHQ 検閲つき

22 年 8 月 31 日青色勅額 10 銭他追放切手貼ハワイ宛葉書

23 年 9 月 13 日第 4 種書留

10 円梅花粗紙ペア Double Exposures



昭和切手時代の急速郵便（3）

池田 健三郎

日本の急速送達郵便（速達及びその前身である飛脚、別段急便、別配達、別仕立に加えて、内国航空など「速く優先的に送送する制度」）の膨大なコレクションの中から、昭和12年5月発行の乃木2銭切手に始まり大東亜戦争後の新昭和切手に引き継がれるまでの「昭和切手時代」を3フレーム(48ページ)抜粋し、その変遷を実証的に辿る制度史作品です。

速達郵便制度が今日のように全国あまねく拡がったのは、ちょうど昭和切手の発行と重なる時期（昭和12年8月16日～）であり、今年（昭和58年）は昭和切手発行80周年であるとともに「速達郵便サービス全国展開80周年」という記念すべき年にも該当します。

速達制度全国化前の地域限定速達用に極く短期間使用された乃木2銭切手貼の速達書状や、終戦直前に導入され数日で終わった「公用郵便」カバーなど、貴重な使用例を厳選して展示しています。



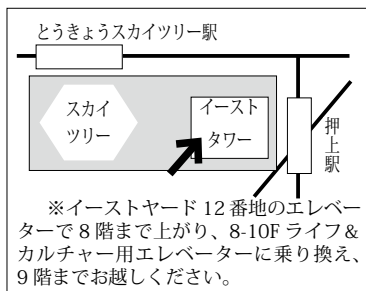
郵博 特別切手コレクション展

1902年(明治35年)に開館した「郵便博物館」に
その起源を遡る「郵政博物館」で開催される特別展です

2017年度に開催予定の特別切手コレクション展一覧

開催期間	特別展名
4/21-23	郵便制度史展 2017 ポスタル・ヒストリーのメイン・ストリームを織りなすコレクションの数々
5/13-14	沖縄本土復帰 45 年記念展 戦後 1972 年まで沖縄で独自に発行された「沖縄切手」コレクションが大集結
6/3-4	昭和切手発行 80 周年記念展 「昭和」の最高峰コレクションが揃い踏み
10/7-8	日本の記念特殊切手コレクション展 記念特殊切手の製造・発行・使用面を研究するグループの結成 10 周年記念特別展示
11/11-12	「心をつないだ年賀郵便の歩み ―そして未来へ」展 送り手の真心と郵政マンの努力の結晶「年賀郵便」の歴史を紐解く
12/9-10	第 5 回ヨーロッパ切手展 ヨーロッパ切手の本格コレクションが勢揃い
2018 年 2/3-4	第 1 回いずみ切手研究会展 わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる
2018 年 3/3-4	安藤源成コレクション展 フィラテリー 70 余年の軌跡と名品の数々を含む円熟コレクションを一堂に

特別切手コレクション展の開催時間は原則として午前 10 時～午後 5 時半ですが、初日だけ 12 時開始になる事が多いので、ホームページでご確認の上、お越しく下さい。



郵政博物館への行き方

所在地 東京スカイツリータウン・ソラマチ 9 階
※イーストヤード 12 番地のエレベーターで 8 階まで上がり、8-10F ラーフ&カルチャー用エレベーターに乗り換え、9 階までお越しく下さい。

最寄駅 押上駅(東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、東武スカイツリーライン、京成押上線)、とうきょうスカイツリー駅(東武スカイツリーライン)両駅から直結。